



各事業所やフロアーに掲示

永 寿 会

虹の通信 第22号

2017年 4月4日

新年度が始まりました。各法人事業所の職員の皆さんには新年度体制を迎え、緊張の時もあるかと思いますが、より一層サービスの向上に献身をお願い致します。

さて、「黄色い飛行船」として21号まで発行してきましたが、ここ暫くは多忙と体調のこともあり途絶えておりました。平成29年度の事業計画等も取り纏められ若干余裕ができ、ホームページにも掲載しますので「虹の通信」と改題して復活します。

永寿会のシンボリックスローガンは「あたたか、安心、いきいき」です。これはお客様へのサービス姿勢を示しますが、そのためには「優しさ」が不可欠です。一緒にサービスを提供する職員同士でもそうです。この優しさにはすべて受容するというのではなく、色々な面を含んで、職員同士の中では克服すべき欠点の指摘も含まれお互いに向上しあう関係も含めていきましょう。

4月1日から新しく職員となられる方も法人全体では、13名おられます。その方のみならず、多くの皆さんに願いたいのは、1400年前後室町時代に活躍した能作者・能役者、世阿弥の言葉「初心忘れるべからず」です。この言葉は彼の著作「風姿花伝」の中にある「秘すれば花なり」と共に有名な格言です。初志貫徹の意と誤解されているようですが、本来は初心の危うさや若年の瑞々しさを失わないようにとの意味です。初心には将来大きく花開く可能性や起点が有るからです。

また、各組織のリーダーや中心にある職員の皆さんには、フランスに起源をもちながら英国社会の精神的支柱である、ノブレス・オブリージュという言葉を中心に留めておいてください。

ノブレス・オブリージュとは「身分の高い立場の人間は義務を負う」所謂ヨーロッパでの貴族の責務ということです。英国王室の後継者は軍隊に入り、前線に立つことになっています。王室のウィリアム王子、やヘンリー王子などは陸軍士官学校で訓練を受けて、攻撃型ヘリコプターのパイロットとして軍事演習に参加をしてその責務を果たしています。ノブレス・オブリージュの考え方からそれは現代日本社会でも、権限や社会的地位や保持には責任が伴うとことなどから、企業の社会的責任として求められていることにもその根底は繋がっています。

リーダーはその責任を果たせなければ認められません。だからこそ、その責任に沿って処遇があり、安穩としてだけでは恵まれた揺り籠には居続けることはできないのです。

以 上